

  
シルバー **宇部**  
第 148 号

編集発行

公益社団法人  
宇部市シルバー  
人材センター

山口県宇部市琴芝町二丁目4番25号  
宇部市多世代ふれあいセンター5階  
TEL(代)31-3251  
<https://webc.sjc.ne.jp/ubesc/>

会員拡大運動中

今年度目標会員数1,316人

男性 818人 / 女性 335人 / 合計 1,153人 (R5.9.15現在)

安全は 無理せず 焦らず 油断せず



タイトル / コスモス満開 撮影者 / 琴芝地区 井上ヒロミ

### 今号のトピックス

- 4年ぶりに会員のつどいを開催 ..... p.2
- 宇部市内地区の名所・旧跡を訪ねて〈二俣瀬〉 ..... p.3～4
- 子育てグッズリユース広場を開催 ..... p.5



# 会員のつどい



8月5日(土)  
10:00〜多世代ふれあいセンターに於いて4年ぶりに開催されました。

鈴木理事長の挨拶に続き、「認知症について学ぼう」と題して、宇部市高齢者総合支援課の兼重仁彦様から、現在の宇部市の高齢者の状況や認知症はどんな病気か、認知症の方への接し方などについて詳しい説明がありました。

また、「最近の交通情勢について」では、宇部警察署交通総務課の上門寛子様から高齢者の事故の現状などについて説明がありました。事故の特徴として、赤信号で停車中の車への衝突、見通しの悪い道や狭路から大きい道へ出る際

自転車や歩行者に追突、駐車場内の事故など普段から安全確認をする癖をつけることが重要だと説明を受けました。それから、交通安全定期診断が自動車学校で無料受講でき、自分の運転の実態を知ることができるので受講し安全運転に心掛けてほしいと。また、運転免許を返納し様々なサービスを受けることができる運転卒業証制度についても説明がありました。

その後、安全衛生委員の江村俊夫さんによる安全宣言が行われ午前の部を終了しました。

それから、用意されたお弁当を手にお會員さんたちは福祉会館へ移動し、情報交換やおしゃべりなど和気あいあいとした時間を過ごされました。ロビーでは健康相談や血圧測定を受けるための列ができ関心の深さを感じました。一



会員作品を展示



健康相談に長蛇の列

階の展示ホールでは、会員による書や流木アート、写真、川柳などの展示や「ひまわり同好会」による手芸品・手作り品の展示があり、熱心に作品に見入る姿が見られました。

午後からは演芸大会が行われ、民謡同好会の方々による元気な唄や演奏が披露され、カラオケでは有志による自慢の歌声が会場に響いていました。会員とシルバ―事務局による「人生笑顔で」と「マツケンサンバ2」の踊りでは会場は笑いと拍手でたいへん盛り上がりしました。

待ちに待ったお楽しみ抽選会では、協賛各社から提供していただいた電化製品、日用品、お米、ホテル食事券、可愛くラッピングされた美味しそうなスイカ、理事長から提供された空気清浄機などが次々に渡っていききました。発表さ



民謡同好会が日頃の練習成果を披露



会員と事務局によるマツケンサンバII



理事長賞(空気清浄機)を授与

れる抽選番号を聞くたびに聞こえるため息や笑い声が会場は和やかな雰囲気の中、会は終了しました。(杉山明美記)

# 宇部市内 地区の名所・ 旧跡を訪ねて

## 〈二俣瀬地区編〉

二俣瀬の名の起こりは字の示す通りで、現在の木田橋の下流約100メートルのところには大きな洲があり、そのため川の流れが二つに分かれていたことから付いた。洲はおよそ1キロもあり、そこには畑や竹林もあった。洲というより中之島という程度であった。

### 熊野神社

二俣瀬の国道2号沿いに山中という旧山陽道時代からの部落があり、熊野神社は上山中の中心に位置している。神社を勧請したのは

伊藤彦四郎で南北朝の戦いの際には吉野にいた。南朝に味方していた厚東氏を手助けしようとして山伏になり、長門の国へ下ってきた。しかし厚東氏はすでに滅ぼされていたので、やむなくこの地にとどまり暮らすことになった。当時、山中は一里四方深山で、文字通り山中だったと寺社由来に記されている。永和4年(1378年)、大内弘世からこの周りを切り開くことを許され、応永元年(1394年)、日ごろ崇敬していた熊野権現を勧請した。山中権現とも呼ばれる。

彦四郎はこの周辺を切り開いて河山市(甲山市)をつくった。宿場町として発展する素地となった。近くにあった専念寺は熊野神社の社坊であった。大名などが山陽道を通るときは、よく専念寺を宿舎や休憩所に利用していたと記録にある。神社の境内の森には樹齢数百年のコイジの木が多く、県の天



然記念物に指定されたツルマンリヨウの自生地でもある。

### 駒の頭かしら



木田から瓜生野にかけて平地が広がっている。しかし、厚東川が低いところを流れているため、西側の平地は水を利用することができず、村人たちは困っていた。正平(1346年)のころ、藤本五右衛門が中心となり、厚東川支流の甲山川に井手(堰)を造った。そして東岸まで水を引き、これを木管で厚東川の底をくぐらせて対岸に吹き上げらせるサイフォン式の樋を造って木田の田を潤したのである。川底を横切った水があふれ出る様子が、笥の先につけて噴水式にして物を冷やす道具「駒の頭」に似ているので、この仕掛けを駒の頭といった。川越の噴水ともいわれる。当時、大きな木をくり抜いた木管を使っていたが、明治36年、土管に替えた。昭和48年、

然記念物に指定されたツルマンリヨウの自生地でもある。

木田の長老が木管の一部が川底に露出しているのを発見して掘り出したので、昔の作り方や材料などが分かった。かつて使われていた石組は記念として、二俣瀬ふれあいセンター敷地に復元されている。

### 善和八幡宮

「善和」とは、和を善しとする、つまり仲良くするという意味であり、平和を祈念して名付けられた地名で、善和八幡宮もこのために建てられたお宮である。宇部市街地から国道2号線に向かって霜降山入口あたりを善和という。この地区は厚狭郡(舟木宰判)と吉敷郡(小郡宰判)との住民の境界争いが長い間続いた土地であった。享保のころ(1716年)藩政府が産業振興のため山開作(開拓)を進めていた。善和には周防国と長門国の境界があいまいであったため、舟木、小郡宰判が協議したが、主張が合わず争いは絶え



なかった。

決定が困難なため、「間地」としてどこにも属さない土地とした。そこで萩藩は間地の280石を車地、井関、佐山の各所から切り離して独立した宰判をつくって争いを収めた。慶應4年には役場である勘場も置き、善和宰判としたのである。部落として固まると、鎮守様を祀るのが当時の習わしである。明治3年(1870年)3月に山口今八幡宮の分霊を勧請して神社を造った。

## 丸山ダム

このダムは昭和51年(1976年)、嵩上げが困難な厚東川ダムの水不足を解消するために造られた補助ダムで、厚東川ダムとの間には連絡水路が設けられている。ダムの中の辻堂という場所から西に入る道が旧山陽道で殿様道(どんだけ道)といわれていた。現在の国道2号の瓜生野交差点から南



へ下る道は、以前は断崖となっていて交通の難所であった。明治20年ごろに新しい国道ができたため人々は大変助かった。国道そばにあるため、威圧感がある。

## 極楽寺

二俣瀬木田から山に向かうと浄土宗の寺が見えてくる。木喰仏が5体あるという。寺に残っている木喰仏は寛政10年(1798年)に木喰上人が40日間、

この寺に逗留したときに彫った仏像である。五智如来と仏画が一幅ある。明治



になり廃仏毀釈の風潮が起こった時、専念寺(極楽寺以前の名称)も廃寺になったが、明治2年に山口の性乾院から極楽寺を引寺して再興した。昭和40年には本堂などが古くて傷みがひどくなったため、木田の現在地に移した。栄枯盛衰が著しい。

(井上博己記)

## おしごと説明会と簡単ホームストレッチ

6月28日(水) 13:30より宇部市文化会館に於いて(公社)山口県シルバー人材センター連合会主催の「おしごと説明会と簡単ホームストレッチ」が開催されました。

主催者から挨拶とホームストレッチについての説明がありました。人材センターの仕事の紹介DVDを鑑賞した後に、会員の井上玲子さんと永富恵美さんの現在の仕事について話を聞きました。井上さんは高年齢のお宅での家事援助をしておられ利用者様との交流を通して、喜びの共有ができて楽しいことや学びがたくさんあるとのことでした。永富さんはお母さまの介護をされながら、リユース事業で子育て世代との交流を通して、気持ちが若返り楽しく活動しているとのことでした。

その後、鈴木理事長からの挨拶で、世界最高齢のプログラマー若宮正子さんの講演会での話を紹介され、その前向きな生き方に元気なづけられたことや一歩踏み出してみてもいいかということ、元気な

あいだに、また長生きするためにシルバークの活動に参加してみてもいいかというお話をされました。後半は、馬田義子先生(ウォーキングインストラクター・メデイカルヨガトレーナー)による足指を中心としたストレッチを教えてください、普段あまり意識していない足の大切さをとても感じました。また靴の選び方やスニーカーの紐の締め方などの説明もありとても参考になりました。最後に高須課長からの挨拶で説明会は終了しました。(杉山明美記)



ホームストレッチの指導を受ける受講者

# 子育てグッズ リユース広場

～ベビー用品やおもちゃを譲渡～

「子育てグッズリユース広場」は7月15日宇部市多世代ふれあいセンター1階展示ホールで開催されました。このイベントは子どもの成長とともに不用になったベビー用品やおもちゃなどを必要な家庭に無料で譲渡するものです。10時開始にもかかわらず、早朝から多くの人で賑わい、子育て世代に盛況でした。先着順に整理券を配布し、混乱もなく約200個のリユース品が無くなりました。また、無料でおもちゃ修理などを受け付ける「おもちゃ相談コーナー」もひらかれ好評でした。この催しはリユースの促進と子育て支援を目的に市廃棄物対策課から委託された事業で、業務は市シルバー人材センターリユース事業グループ「リユースラボ」が行っています。今年度ごみ減量関連業務委託に係るプロポーザル方式参加募集に加わり採択された仕事です。

次回開催は10月9日にこども用スポーツグッズリユース広場（ユーピーアールスタジアム）を予定しています。



▲10件以上の相談があり会員が修理を行った。  
左から、松田さん、北村さん



▲入場までの待ち時間「休憩スペース」を提供した。



▲回収品の管理・保管はリユースラボで行っている。  
左から、永富さん、西村さん、伊藤さん



▲回収品の約60%がリユースに繋がった。

# 「健康づくり」フレイル予防講習会 開催報告

初秋とは名ばかり、日中は厳しい暑さの残る9月1日 中央公園 テニスコート会議室にて「健康づくり」フレイル予防講習会を開催しました。

講習に先立ち鈴木理事長のご挨拶では、会場に大きな笑いも起こり、13名の受講者の緊張が一気にほぐれました。

働くことで、社会と繋がり、健康づくりにも役立つ、年齢に合った働き方が選べるシルバー人材センターの特色（紹介？魅力？）に、皆さん大きく頷いていらっしゃいました。

講師としてお招きした、宇部市協立病院 理学療法士の山本善和



先生の軽妙な話術に、笑顔の絶えない和やかな雰囲気の中、ストレッチ、ウォーキングの実践、質疑応答も含

め、1時間30分があったという間で

会場内で測定した、筋肉量、握力などの各自の数値と資料を照らし合わせながら真剣にペンを走らせる姿勢からも、受講者の意欲の高さが感じられました。

女性は平均寿命と健康寿命の差が大きいと聞いていましたが、その期間はなんと「12年超」。数字で示されると、日常生活に制限のない健康な期間が1日でも長くなるよう心も体も鍛えなければ、と身の引き締まる思いでした。

加齢とともに減少する筋肉も、鍛えれば落ちるスピードを穏やかにすることも可能ですが、継続す



るのは簡単ではありません。

就業することで義務感、緊張感を持ち、肉体労働でなくとも通勤だけで足腰の運動にもなります。

外出（交流）の機会が増えれば、死亡率が1・9倍にもなる「社会孤立」からも距離をとることができるとは思いませんか。

働ける喜びをより多くの方へ伝えていけるよう、今後も取り組んでまいります。（永富恵美記）

## 宇部市長へ要請活動

シルバー人材センターでは、各地域において支援要請の活動を行っています。当センターは、8月21日（月）に鈴木理事長・井上理事・古谷事務局長が篠崎市長へシルバー人材センター事業の支援の要望を行いました。



## 山口県シルバー人材センター連合会 事業貢献役員表彰



前列一番左：岡崎徐磨理事  
後列一番右：鈴木久幸理事長



表彰を授与される岡崎理事

令和5年6月20日（火）に山口市の県土連ビルで開催された山口県シルバー人材センター連合会定時総会において、センター事業に貢献された役員が表彰が行われた。当センターからは岡崎徐磨理事が事業貢献役員表彰を受賞した。

また、当センターが県内の優良事業所として表彰された。



「実りの秋」  
琴芝地区 井上 ヒロミ



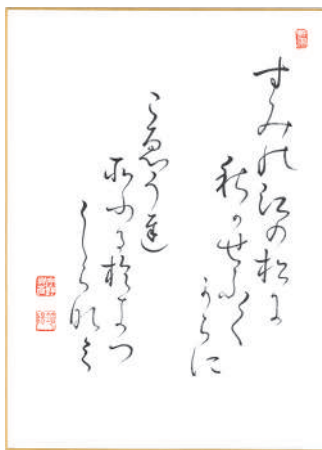
「湧き水きれい」  
常盤地区 桶田 敏治



「楽しいしゃぼん玉」  
常盤地区 成重 元規



「障子絵」  
琴芝地区 井上 ヒロミ



岬地区 宇野 典彦

色紙

古今和歌集  
すみの江の松に  
秋かぜふく  
からに  
こゑうち  
そふるおきつ  
しらなみ

川柳

ごめんなさい 相談した人が 迷いだし  
飲み会は 遅刻もなければ 欠席も無し  
出来たはず 脳と身体に 大きな開き  
今日明日も 見えぬ時代になぜ未来  
沸騰化 体温以上の 酷暑耐え

東岐波地区 小栗 敬一

謙虚さは 聡太さんから 学びたい  
二刀流 スイーツまみ 酒を飲む  
父の日は 補聴器よりも 酒が良い  
「アレ」「コレ」で 夫婦の会話 成立す  
今日もまた 挨拶された 誰だっけ

琴芝地区 井上ヒロミ

難読漢字  
物品編

- |        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| Q1. 錨  | Q2. 錘  | Q3. 錐  | Q4. 鉤   |
| Q5. 鏝  | Q6. 賽子 | Q7. 束子 | Q8. 鉈   |
| Q9. 暖簾 | Q10. 鉞 | Q11. 鑪 | Q12. 轆轤 |
| Q13. 鈇 | Q14. 鑿 | Q15. 箆 | Q16. 剃刀 |

## ■事務局だより

事務局だよりは、大事なお知らせを掲載しております。必ず読みましょう。

### 会員手帳販売のお知らせ

購入希望者は10月30日までに事務局へ電話で申し込みしてください。

11月20日以降に引き渡しますので、代金(300円)をご持参の上、事務局へ取りに来てください。

### 建具張替 就業希望者へ

右記の就業を希望される方は、作業を見学することが出来ますので、事務局へご連絡ください。

### 研修旅行のお知らせ

11月24日(金)に研修旅行の開催を予定しています。詳細は別紙のご案内を確認いただき、お問い合わせの上ご参加ください。

## ご存じですか？ 配分金のこと

配分金には消費税が含まれています!!

令和5年10月1日から「インボイス制度」が導入されました。就業された会員は消費税法上「事業者」となっていますので、納税の義務が生じますが、基準期間内の課税売上高(配分金)が1,000万円以下の場合は、免税となります。

#### インボイス制度前(～令和5年9月30日)

センターが会員のみなさんにお支払いする配分金には、発注者から預かった消費税が含まれています。

この消費税は、本来、国(税務署)に納めるものですが、会員の皆さんは消費税免税事業者(年間の課税売上高が1,000万円以下)なので、納める必要はありません。

配分金本体 10,000円	消費税 1,000円
------------------	---------------

配分金11,000円の場合

#### インボイス制度導入後(令和5年10月1日～)

①インボイス制度が始まって、会員の皆さんにはこれまでどおり発注者から預かった消費税を含めてお支払いします。会員の皆さんは、消費税免税事業者なので、引き続きこの消費税を国に納める必要はありません。ただし、センターはインボイス制度施行後、消費税免税事業者である会員さんとの取引について、消費税の仕入税額控除が認められなくなり、新たな納税コストが発生します。

配分金本体 10,000円	消費税 1,000円
------------------	---------------

新たな納税コスト

配分金11,000円の場合

②センターでは、発注者との料金交渉や業務効率化等により、会員の皆さんの配分金額に影響が及ばないように努めてまいります。センターの経営事情が厳しくなることについて、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

### 7ページ 難読漢字解答

- |            |           |            |           |         |
|------------|-----------|------------|-----------|---------|
| A 1. いかり   | A 2. おもり  | A 3. きり    | A 4. かんな  | A 5. こて |
| A 6. さいころ  | A 7. たわし  | A 8. なた    | A 9. のれん  |         |
| A 10. まさかり | A 11. やすり | A 12. ろくろ  | A 13. はさみ |         |
| A 14. のみ   | A 15. ざる  | A 16. かみそり |           |         |



## 編集後記

宇部市シルバー人材センターは男性849人、女性341人の会員で構成されており、平均年齢も73・7歳と近年一段と高齢化しています。皆さん健康を維持する為に努力をしており、私も毎朝の6000歩の散歩と、友人とテニスをすることで、何とか体力維持しています。しかし、最近は一瞬の間に知人の名前が出てくるようになったり、スマホでも、たまにしか使わないアプリの操作を忘れたり、メモに頼った状態です。元々、体育系で本も全く読まないし、そんな自分が、広報紙の編集にかかわろうとは思っていませんでした。しかし、広報委員の能力の高さに刺激を受け、自己啓発のため、出来るだけ会員の皆様が興味を持って読みたいくなるものを編集したいと頑張るようになりました。過去にない新しい分野を開拓すべきと、意欲的な若手職員もおります。

仕事以外でも、新型コロナ騒動も沈静化?の可能性も出てきています。会員増の目的の為に、福利厚生にも力を入れ、新しい同好会を立ち上げたら如何でしょうか。「近場の山登り同好会なんて、誰かリーダーいませんか」

(櫻木記)